

財務諸表に対する注記

1. 継続組織の前提に関する注記

継続事業の前提に関する重要な疑義は存在しておりません。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

「公益法人会計基準」(平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定委員会)を採用しています。

(2) 有価証券の評価基準及び評価方法

該当事項はありません。

(3) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

該当事項はありません。

(4) 固定資産の減価償却の方法

什器備品の減価償却は、直接法・定率法によっております。

(5) 引当金の計上基準

該当事項はありません。

(6) 消費税等の会計処理

税込方式によっている。

3. 会計方針の変更

該当事項はありません。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	10,000,000	5,000,000	10,000,000	5,000,000
小 計	10,000,000	5,000,000	10,000,000	5,000,000
特定資産				
国際交流国際協力推進基金	3,000,000	1,500,000	3,000,000	1,500,000
小 計	3,000,000	1,500,000	3,000,000	1,500,000
合 計	13,000,000	6,500,000	13,000,000	6,500,000

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち基金からの 充当額)	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対 応する額)
基本財産					
定期預金	5,000,000	0	0	0	—
小 計	5,000,000	0	0	0	—
特定資産					
国際交流国際協 力推進基金	1,500,000	0	0	0	0
小 計	1,500,000	0	0	0	0
合 計	6,500,000	0	0	0	0

6. 担保に供している資産

該当事項はありません。

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	328,811	327,511	1,300

8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
なし			

9. 保証債務（債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。）等の偶発債務

該当事項はありません。

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
該当事項はありません	

11. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
滝川国際交流協会補助金	滝川市	0	3,450,000	3,450,000	0
持続化給付金	経済産業省	0	2,000,000	2,000,000	0
経営持続化臨時特別支援金B	北海道	0	50,000	50,000	0
家賃支援金	経済産業省	0	114,996	114,996	0
雇用調整助成金	厚生労働省	0	1,129,542	1,129,542	0
合 計		0	6,744,538	6,744,538	0

12. 基金及び代替基金の増減額及びその残高

基金及び代替基金の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基金				
基金計	0	0	0	0
代替基金				
代替基金計	0	0	—	0
合 計	0	0	0	0

13. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
該当事項はありません	

14. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引の内容は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
該当事項はありません	

15. キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引

(1) 現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている金額との関係は以下のとおりである。

前期末		当期末	
現金預金勘定	10,951,054 円	現金預金勘定	12,710,563 円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	43,000,000 円	預入期間が3ヶ月を超える定期預金	36,500,000 円
公社債投資信託等振替額	円	公社債投資信託等振替額	円
現金及び現金同等物	53,951,054 円	現金及び現金同等物	49,210,563 円

(2) 重要な非資金取引は、以下のとおりである。

前期末	当期末
該当事項はありません	

16. 重要な後発事象

該当事項はありません。

17. その他

該当事項はありません。

附 属 明 細 書

1. 重要な固定資産の明細

(単位：円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	定期預金	10,000,000	5,000,000	10,000,000	5,000,000
	基本財産計	10,000,000	5,000,000	10,000,000	5,000,000
特定資産	国際交流国際協力推進基金	3,000,000	1,500,000	3,000,000	1,500,000
	特定資産計	3,000,000	1,500,000	3,000,000	1,500,000
その他固定資産	什器備品	2,590	0	1,290	1,300
	事業・運営調整積立金	30,000,000	0	0	30,000,000
	その他固定資産計	30,002,590	0	1,290	30,001,300

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
なし					